

東洋機械金属株式会社と新型射出成形機のプラットフォームの共通化を実現しました。

株日本製鋼所（以下：当社）は、東洋機械金属株式会社（以下：東洋機械金属）と資本業務提携を締結し、小型電動射出成形機（以下：新型機）の開発を進めております。

この度、その第一段階として新型機に搭載するプラットフォーム(骨格)の共通化を実現しましたのでお知らせいたします。今後はこのプラットフォームをベースに、両社の独自技術を活かした各種機能の開発を進めてまいります。

当社の射出成形機事業は、中・大型機においては受注好調を背景とした広島製作所の増産投資を着実に実行し、小型機では東洋機械金属との資本業務提携の成果を出すことで、事業全体の競争力強化・規模拡大を図ってまいります。

1. 新型小型射出成形機の開発

当社と東洋機械金属とは、2011 年 4 月の部材調達に関する相互協力からスタートし、2014 年 3 月には更なる協力体制を構築するために資本業務提携を締結しております。

同提携後は新型の小型電動射出成形機の開発を進めており、開発中の新型機は当社ブランドで販売することとなっております。

当社においては、2015 年 3 月より販売開始した新シリーズ「J-ADS」に新型機をラインナップする予定です。同シリーズは現在、中型機のみ取り扱っていますが新たに小型機としてラインナップいたします。

2. 新型機開発の第一段階として、プラットフォームの共通化

射出成形機においてプラットフォームとは、型締装置や射出装置の骨格部分で、各種機能部品を取り付ける土台となるものです。

当社は東洋機械金属と新型機の開発を進めておりますが、その第一段階として新型機に搭載するプラットフォームの共通化を実現しました。

このことにより、両社の独自技術を活かした機能部品の開発に着手可能となります。今後も品質・機能・価格などの面における両社の強みを融合した新型機の開発を推進してまいります。

以上